

# 看護師の活躍

看護師  
大野 莉奈  
2021年7月入社 蒲田配属



私は新卒で訪問看護師を志しました。一人ひとりの患者様と向き合い疾患だけでなく、その人の生活背景を考えながら看護をしていくのは訪問でしかできない経験だと思ったからです。ただ、知識や技術は未熟であるため、入社した当時は大きな不安がありました。

しかし、先輩方が優しく接してくれて、仕事に慣れるまで同行し指導していただいたのでとても心強く感じていました。困った時でもすぐに相談できるので、安心して訪問することができ、入社して半年で25件ほど回れるようになりました。

仕事以外の休憩時間などでも声をかけていただき、訪問を終え事務所に帰ってくる時、ほっとした気持ちになれるのがいいですね。

看護師だけではなく、リハビリスタッフやケアマネージャーの方なども在籍しているため、多職種の連携が密にできることも弊社の特徴だと思っています。

新卒や経験が浅い中での訪問看護は、多くの人が不安になると思います。でもそれ以上に、病院では見られない在宅だからこそ見える看護の視点がたくさんあると思います。

ご興味ある方はぜひ一度ご見学にお越しください！

(1年目の現場より)

訪問看護を始めてから、足の爪切りやウオノメ・タコなどの処置に困っている方の多さに驚きました。先輩ナースから教わりながらそれらの処置を行っていました。が、「もっと専門的な知識や技術を学びたい」と思い、社内のメディカルフットケアの研修コースに参加することにしました。

研修は爪切りやウオノメ・タコなどに対する技術指導の他に、足の解剖学的な知識歩行の局所的な理解、そして靴の選び方など幅広い講義があり、アットホームな雰囲気です。楽しく学ぶことができました。ただ皮膚や爪のケアをすればいいと思いがちですが、その方を全体的にみて、『なぜそのトラブルが起きてしまうのか』を考えてアプローチし、ケアや提案をして再発の予防に努めていくことが大切なのだと思ってきました。

以前勤務していた病院ではゆっくりと足のケアができる時間はありませんでしたが、現在は訪問看護の一環としてメディカルフットケアを積極的に導入しています。実際にケアを行った後は、「ご利用者様から「さっぱりして気持ちいい」「痛みが減った」などお言葉をいただくことも多く、やはり励みになっていきます。これからもメディカルフットケアを通じて少しでも気持ち良く生活できたり、安全に歩いたりできるお手伝いができたらいいなと思っています。」(8年目の現場より)

メディカル  
フットケアナース  
立花 祥子  
2015年4月入社  
用賀 訪問看護管理者



職場見学で実際に雰囲気を感じ、入社を決意しました。

それでも入社した時の不安は8割でした。訪問看護に対して分からないことが多すぎて不安なんだろうな、分からないことがなくなれば不安も解消するはず！と介護保険の勉強をすれば何とかかなる!!と思っていました。

管理者や看護部長にこまめに連絡を取り、フォローやサポートをしてもらったので安心して訪問できました。今では、利用者様の自宅に行くのが「私を待っていてくれる」ようで嬉しいのです。

病棟勤務では、担当する患者様が7、8名と数秒の処置で終わることもありましたが、今はご利用者様のできることが、徐々に増えていくことも嬉しいですが、それ以上に関係性がより深くなっていくことに喜びを感じています。

訪問看護はまだ経験が浅いですが、今は桜台訪問看護ステーションの管理者として、雰囲気作り(よく笑うこと、皆に声をかけすること)を心がけていきます。

看護部長や他ステーションの管理者にも相談できるので、失敗しても「はい、次」と切り替えて日々頑張っています。

(2年目の現場より)

看護師 管理者  
小林 桃子  
2021年4月入社  
桜台訪問看護管理者

